

会員さん仕事紹介

安全な作業環境を作ることが第一

江坂東支部 米田工務店 ☎06・7164・6877

代表 米田 博文さん(型枠大工事業)

昭和58年18歳で学校を卒業した米田さんは、お父さんが経営する米田工務店で働き始めました。最初見習いで一からのスタートでした。父といえども甘えは許されません。持ち前の頑張りから28歳で現場を任されるようになりました。そしてお父さんの引退によって35歳で米田工務店の2代目になりました。父の仕事を継げたことを誇りに思っています。得意先からの支援もあり、順調よく仕事はすすみました。



仕事はマンション建設現場の型枠工事です。その仕事をこなすためには、いろいろな資格が必要となってきます。型枠工事一級技能士、溶接、フォークリフトの免許、玉掛、高所作業ができる資格などです。建設業の許可証も取得しました。従業員教育にも力を入れています。モットーは安全な作業環境づくりです。当然といえば当然ですが、従業員や外注さんの命がかかっています。そのためにも荒っぽい仕事はダメで、丁寧な仕事をするのを、口酸っぱく説きます。現場は関西一円で結構ハードです。身体が資本だと言えます。将来は規模を大きくすることも考えていますが、当面は厳しい建設業界のなかでいかに生き残るかが課題です。元請けとのコミュニケーションづくりも重要です。そのことが仕事確保に大きな影響を与えます。米田さんは自然体のお付き合いを心がけているようです。たまの休日は、気の合った仲間の野球チームで汗を流します。終わったあとのワイワイ言いながらの一杯が息抜きになるそうです。民主商工会は知人を介して知りました。事業主としての学習が必要だと考えて、民商が自分に一番ピッタリだと入会に至りました。これからいろいろな企画に参加したいと意欲満々です。

2017年度予算及び施策改善に関する要望書

(続き④)

●税・社会保障問題に関連して

一. 国民健康保険制度について

- (1) 「大阪府国保統一化」は、保険料問題だけではなく、地方自治の独立に関わる問題です。吹田市は「大阪府国保統一化」に反対する意思表示をしていただくこと。
- (2) 2015年度から導入されている低所得者対策の資金(全国で1700億円)を活用して国民健康保険料の引き下げを行なっていただくこと。
- (3) 保険証の留置き期間を1ヶ月以内に短縮していただくこと。
- (4) 日頃の温かい相談姿勢い感謝申し上げます。保険料の滞納者の生活等の実情を丁寧に把握して対応していただくこと。
- (5) 「吹田市国民健康保険料財産調査に関する基準」を遵守していただくこと。
- (6) 以下の実態について教えて下さい。
 - ① 2011年度から2015年度までの所得別国保加入世帯数、滞納世帯数
 - ② 2011年度から2015年度までの所得別の保険料減免世帯数、減免金額
 - ③ 本年9月1日現在の資格証数、短期保険証数、保険証留置き数
 - ④ 2015年度の所得別財産調査件数、差押え件数と金額、執行停止件数。本年8月31日までの所得別財産調査件数、差押え件数と金額、執行停止件数

二. 介護保険制度について

(1) 保険料を引き下げてください

(2) 利用料の減免基準を緩和してください

(3) 特別養護老人ホームを計画的に建設していただくこと

(4) 介護保険法の「改正」により、介護から排除されたり、大きくサービスが後退したりすることがないように実態を正確に把握していただくとともに、自治体として適切な対応をしていただくこと

(5) 国に対して、要介護1, 2の訪問介護の生活援助を保険給付から外したり、要介護2以下の福祉用具レンタルを自己負担化したる等、これ以上の給付削減を行なわないようお願いさせていただきます。

三. 生活保護制度について

(1) 日頃の安宅会相談活動に感謝申し上げます。引き続き、相談者の実情に寄り添う相談活動となるように心がけていただくこと。

(2) 生活保護の利用を判断して相談に来ながらも、様々な理由で受給に至らなかった方々の追跡調査を行ない、生活困窮者を孤立させないように配慮していただくこと

(3) 「就労」指導は、生活保護受給者の実態と意向を尊重し、圧力的なものになることがないように留意していただくこと

(4) 国基準に即し、担当職員数を増員して、時間的にも精神的にも余裕を持って相談者に対応できる体制を整備していただくこと

(5) 国に対して、母子加算の削減方向の見直しを止めるとともに、高齢加算の復活を働きかけていただくこと

商工新聞は経営のヒント・ノウハウの知恵がいっぱい 毎週必ず届けます
会費集金は会員の心をあしめる活動です 毎月10日までには集めましょ